



横浜市立相沢小学校 6月号 R3.5.31

学校だより

学校教育目標

学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっ子



学校 HP QR コード

令和3年度 ^{エスディーゼーズ} SDGs へのチャレンジが始まりました！

副校長 井上 文裕

相沢小学校は昨年度より、SDGs 達成の担い手育成 (ESD) 推進校になりました。子ども達は、世界中で起こっている様々な出来事にふれながら、SDGs の目標を意識しながら生活することで、水や資源は限りがあるということを知り、節水をしたり、節電をしたりするなど、活動を通して日常を見つめ直すようになってきました。

SDGs とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標から構成されています。

相沢小学校では、このSDGsにチャレンジすべく、各学年の教科・領域の中にSDGsの考えに結びつく内容を取り入れています。昨年度は学校と地域をSDGsで結びつけ、環境問題について学んだ6年生がPTAのご協力をいただき、スポーツフェスティバルの参加賞をエコバックにしました。そして、相沢のまちにSDGsを広めるため「あいざわのまちSDGs宣言」を12月のあいざわっ子発表会で宣言し、地域にお住まいのみなさまのご協力もあり、あいざわのまちにSDGsの輪を広げることができました。

今年度はPTAの山中重男会長から、「SDGsへのチャレンジを学校と一緒にやりたい」とありがたいお申し出をいただくなど、学校と地域、そしてPTAが三位一体となって、「住み続けられる(住み続けたい)まちづくり」を目指していきたいと考えています。ぜひご家庭でも、子ども達とSDGsについて話し合っていたいただき、共に日常をより良いものにしていただければと思います。

